

2021年10月27日(水)

大阪府看護学校協議会 専任教員交流会 記録

参加者：18人

14：10～14：30 全体交流

主に学内の実技演習についての現状交流

- ・今回初めて学生が患者役となつての体位変換の実技を行った。
- ・マスク、フェイスシールドを着用して行っている。
- ・演習は、人数を半分ずつに行っている。
- ・実施方法は他校と同様だが、フェイスシールドを使用しても『濃厚接触者』の概念から、30分以内としている。
- ・今日、清拭の実技試験を行った。 などなど

14：30～16：00 グループセッション（主に領域別）

16：00～ 全体交流

1 G . . . 母性、精神、基礎

- ・コロナ禍での演習の話
- ・実習形態について . . . 一日行えている学校もあれば、半日ずつの学校もある。
- ・対面授業の様子
- ・実習記録用紙についての交流

2 G . . . 成人

- ・学内実習の工夫、人形使つての演習
- ・コロナ対応について
- ・記録が書けない学生の対応 . . . 具体的な対処方法など
- ・評価 . . . 学生が高い評価をつける。客観的に自分を見れるようには？
- ・教員からみて困っている学生は、学生自身が困っているのでは？の発言に納得した。
- ・シュミレーターを使つての授業について。
- ・年1回の交流会がある事で、交流できて良かった。来年につながる。有難い。

3 G . . . 成人

- ・実習の話。施設によりコロナ対応が違うので、学生も戸惑う。どこも悩みは同じ。
- ・学内演習の工夫。リモートで準備していることなど。
- ・まだ全学生を来させられない状況がある。
- ・演習の時の完全防備で夏は暑くて倒れそうな学生もいた、水分補給を適宜行つたが、逆にいつでも水分を飲んでしまう学生もおり、学生のあたりまえと教員のあたりまえが違って、学生の思いも受け止めたいが、指導も必要
- ・教科外活動（学校行事や体育祭など）についてどうしているのかの交流

- ・初めて参加したが、毎日毎日がよく分からない中だったのが、他校の話聞いて自校にも生かせられると思った。

4 G・・・在宅・老年

- ・コロナ禍で在宅の実習一学内では難しい。
- ・新カリキュラムの交流も行った。
- ・1回生時から学生自らアポを取って地域に行くことを行っている学校もあった。
- ・通信の学校の実習の様子を聞いた。
- ・DVDを活用して実習に生かしている。
- ・看護過程の講義についての交流・・・看護過程をなくしていく方向もあると聞くが・・・今後どうするのか？
- ・実習記録を無くしていく方向？・・・今の学生は記録を書くのは大変だが、学生なりに努力している。今後、記録をどうしていくか？考える機会となった。刺激となった。
- ・今の流れを知り、学生への教育を考えていきたい。

5 G・・・基礎

- ・話が盛り上がった。
- ・コロナ禍での実習について交流。
- ・基礎：実習に出すまで演習をどうしているか？の交流ができた。
- ・イメージできるように・・・物品、環境、時間配分・・・などの工夫。
- ・物品一手作りしている。
- ・教えた内容に合わせて、物品の工夫をしている。
- ・物品の調達について・・・身体侵襲のある演習の物品について、情報共有できた。
- ・工夫することは大事だが、大変でもある。
- ・学生を育てようとしている姿、みんな頑張っている。負けてられないな。教育している仲間がいる。明日から、頑張れると思った。

所感：交流会開始直後に WI-FI トラブルがありましたが、流石常に学生指導に当たっている専任教員の集まり！難なく突発事項にも対応して自分たちで進めていただけました。

今回参加していただいた方々は「本当に楽しかった」「自分の常の不安が解消された」「交流会に参加してよかった」「他校の工夫を知ることができた」など大好評に終わりました。

今後も大阪府看護学校協議会として、様々な交流会の開催を企画し会員校の皆様にとって意義ある取り組みを行っていきたいと考えております。乞うご期待！！